

# 令和2年度 高知県普通会計決算見込みについて（ポイント編）

## 1 歳入歳出決算額の状況

（単位 百万円、%）

- 新型コロナウイルス感染症への対応などにより、歳入・歳出ともに増加。
- 当該年度に属するべき収入と支出の実質的な差額である実質収支は、**52億7百万円（国庫支出金返還見込額31億5百万円含む）の黒字となった。**

区分	R2年度	R元年度	増減額	増減率
歳入総額 A	507,676	457,295	50,381	11.0
歳出総額 B	492,330	449,351	42,979	9.6
形式収支 C (A-B)	15,346	7,944	7,402	93.2
繰り越すべき財源 D	10,139	6,825	3,314	48.6
実質収支 E (C-D)	5,207	1,119	4,088	365.3

（注）国庫支出金：新型コロナウイルス感染症緊急包括支援交付金

### ①歳入科目の主な増要因

**R元：4,572億95百万円 → R2：5,076億76百万円（+503億81百万円）**

- 新型コロナウイルス感染症対応のための国庫補助金が増加したことなどにより、**国庫支出金が対前年度比522億75百万円の増**となった

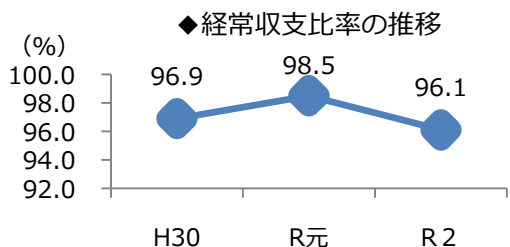
### ②歳出科目の主な増要因

**R元：4,493億51百万円 → R2：4,923億30百万円（+429億79百万円）**

- 新型コロナウイルス感染症対応による医療機関への補助金の増などにより、**補助費等が対前年度比360億80百万円の増**となった。また、国の3か年緊急対策等への対応に伴う公共事業の増などにより、**普通建設事業費が対前年度比で47億2百万円の増**となった。

## 2 各財政指標の状況

- 財政構造の弾力性を示す**経常収支比率（※）は、2.4ポイント減少し、96.1%に改善。**
- 県債残高は、防災・減災・国土強靱化事業債など、地方交付税措置率の高い地方債を積極的に活用し、防災・減災に資するインフラ整備を加速化した結果、対前年度より増加。**



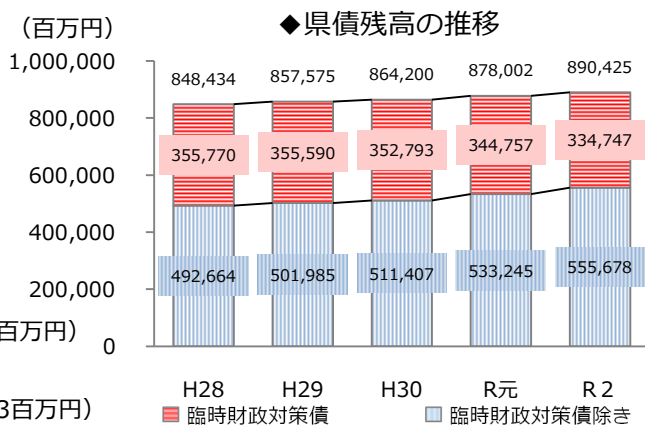
（※）経常収支比率：経常経費充当一般財源等／経常一般財源等総額

### ①経常収支比率

- 実質的な交付税（普通交付税＋臨時財政対策債）の増に伴い、算定の分母となる経常一般財源等総額が増となったことから、前年度から減少した。

### ②県債残高

- 県債残高総額**  
R元：8,780億2百万円 → R2：8,904億25百万円（+124億23百万円）
- 臨時財政対策債を除く県債残高総額**  
R元：5,332億45百万円 → R2：5,556億78百万円（+224億33百万円）



## 3 将来に向けた基金の確保

- 財政調整的基金は、財源不足への対応のため、**取り崩しを行った結果、前年度から5億68百万円減少し、R2年度末残高は203億37百万円。**

